

目 次

序：「海洋天然物化学」の現状と今後の展望	1
(名古屋大学大学院理学研究科教授) 上村 大輔	
1. 有用海洋生物成分の探索	3
(大阪大学大学院薬学研究科教授) 小林 資正	
2. 海洋天然物化学研究の動向	9
(東京大学大学院農学生命科学研究科教授) 伏谷 伸宏	
3. 国外における海洋天然物の製薬動向	15
(琉球大学理学部教授) 比嘉 辰雄	
4. 海洋天然物の全合成	21
(東北大学大学院理学研究科教授) 平間 正博	
5. 海洋産抗腫瘍性物質	27
(筑波大学化学系教授) 木越 英夫	
6. 海産物起源の医薬品探索	33
—KRN7000(抗腫瘍薬、agelasphines 誘導体)の開発、S1319(抗アレルギー薬)の発見—	
(キリンビール医薬探索研究所研究員) 新藤 一敏	
7. 予防医薬とマリンビタミン	39
(東京水産大学食品生産学科教授) 矢澤 一良	
8. マリンゲノムの可能性	45
(東京農工大学工学部教授) 松永 是	
(東京農工大学) 横内 裕子	
9. 生合成：世界の動向と海洋天然物	51
(東京大学大学院薬学系研究科教授) 海老塚 豊	
10. NMRの技術進歩と海洋天然物	57
(大阪大学大学院理学研究科教授) 村田 道雄	
11. 海洋天然物と受容体との相互作用	63
(理化学研究所ゲノム科学総合研究センタープロジェクト副ディレクター・ 横浜市立大学大学院総合理学研究科客員教授) 廣田 洋	
12. サングの生態化学	69
(静岡県立大学薬学部助手) 末永 聖武	
(名古屋大学大学院理学研究科) 照屋 俊明	
13. 海産大型藻類の無菌培養と形態形成因子	73
(北海道大学大学院水産科学研究科教授) 嵯峨 直恆	
(北海道大学大学院水産科学研究科) 飯塚 治	
(大阪大学微生物病研究所研究員) 山崎 綾乃	
14. 生体機能解明のための試薬としての海産毒	81
(東京大学大学院理学系研究科教授) 橘 和夫	